



広 報

いいなて

http://www.vill.iitate.fukushima.jp/

the most beautiful
villages
in japan飯館村は「日本で最も
美しい村」連合に加盟
しています。

12/22

「ゆず」が飯館中学校を訪問

ミュージシャン「ゆず」のお二人が飯館中学校を訪問しました。会場となった教室では生徒たちの大きな歓声が湧きました。

「ゆず」から夢を聞かれた生徒たちは「僕の夢は警察官です。震災で困っている人々を助けたいという気持ちになったからです」「飯館村に戻って社会に貢献することです。若い世代がいなくなったらダメだと思ったので、自分が戻って少しは役に立てたらいいかなと思い決めました」と自分の夢を話しました。

また、「ゆず」のお二人は、生徒たちが中学校の文化祭「赤蜻祭」で歌ったヒット曲「栄光の架橋」を歌い生徒たちを励ました。



大なる田舎 まであいうイ。いいなて

第五七六号 平成二十四年二月五日発行（毎月五日発行）

●発行／飯館村 ●編集／総務広報委員会 千九六〇一三〇一

福島県福島市飯野町字後川一〇番地二 飯館村役場飯野出張所

☎〇四一五六二一四二四六
印刷（株）こはた印刷所

伊達東仮設住宅集会所でだんご挿しが行われ、同仮設住宅の入居者ら60人ほどが参加しました。

参加者らは、用意された川俣産の水木に、色をつけただんごや飾りなどを一つひとついねいに付けていきました。

だんご挿し終了後にはつきたての餅を使った雑煮などが参加者に振る舞われました。

この餅は、震災前の飯



▲餅つきは集会所前でなされました

「だけでうれしい」「やっぱりつきたてのお餅はおいしい」と行事を楽しんでいた。ようすでした。

佐藤忠義自治会長は「仮設住宅内でもみんなが顔を合わせ、機会が少ない。今後も節目など節目ふしめにこうしたイベントを開いていきたい」と今後の活動の展望を話しました。



▲だんご挿しのようす

参加者は、「みんなが集まれることが楽しい。みんなの顔を見ることができる」

館産のもち米を使い、同集会所前で杵と臼を使ってつくられたものです。



▲つきたてのお餅を食べる参加者

1/12

伊達東仮設住宅
入居者らが

だ

ん

ご

挿

し

を

行

い

ま

し

1/17

常陸宮さま両殿下が避難者を励ます

常陸宮さま、華子さま両殿下が松川第1仮設住宅を訪れ、避難した村民を励まされました。



▲村民に声をかけられる常陸宮さま両殿下

両殿下は同仮設住宅内の「サポートセンターあづまっぺ」と集会所を訪れ、「ご家族と会われていますか」「（避難されて）一番大変なことはなんですか」と気づかれながら「お大事に」「お体にお気をつけて」と声をかけられました。

また、常陸宮様は「みなさんが故郷に帰れる日を心から願っています。明るい、平穏な暮らしができる日が来ることを待っていてください」と集まった村民に語りかけられました。

同自治会長の木幡一郎さんは「朗らかに話していただいて力が湧いた。『絆つながり大道を歩む』とお話した」と話していました。

植物油インクを使用しています。
登録番号 0087

広報 いいなて

は再生紙を使って作られています



▲御礼の言葉を述べる卒業生代表

ト代表の伊勢谷友介さんや歌手の岡本真夜さんが駆けつけコンサートも開かれました。

式に出席した保護者や子どもたちは「校長先生から卒業証書を手渡されてうれしかった」「全国の皆さんが飯舘村のことを気づかってくれているということを知り感動した」「予想外の出来事で心にも残る式になった」と式の感想を話しました。

式終了後には、支援者から子どもたちにケーキなどのクリスマスプレゼントが配られました。



▲俳優でリバースプロジェクト代表の伊勢谷友介さん。伊勢谷さんには実行委員会への参加や村内の取材など企画の段階から協力していただきました



▲までい大使でラジオ福島アナウンサーの菅原美智子さん。式の進行にご協力いただきました



▲会場内に設置されたタイムカプセル。子どもたちが今の気持ちや自分あての手紙を投かんし、それぞれの成人式に渡されます。



▲式の締めくくりに岡本さんの「TOMORROW」を全員で合唱。涙ぐむ出席者もいました。



▲歌手の岡本真夜さん（左）とRifaさん。式ではコンサートで子どもたちを励ました



9ヵ月遅れの卒園・卒業式を祝う 平成22年度飯舘村幼稚園小学校 卒園卒業式

平成22年度飯舘村幼稚園小学校卒園卒業式が川俣町中央公民館ホールで行われ、園児54人、児童58人の門出を祝いました。

卒園・卒業式は東日本大震災のため延期されていましたが、教育委員会の主催、㈱リバースプロジェクト、Mobi le Labo.、㈱JL&Pロダクションの共催でこの日に行われました。

式を行うために各幼稚園・小学校の校長（園長）、副園長、保護者の代表らで実行委員会が組織され平成23年10月から何度も協議を重ねました。

式では、在校（園）時の園長・校長が修了証書・卒業証書を一人ひとりに手渡ししました。

園長・校長あいさつでは各校（園）



▲卒園・卒業証書は在校時の校長から一人ひとりに手渡されました

長が「今回の卒業式を区切りに新しい一歩を踏み出してください」「これから心を通わせ、これからの人生を歩んでください」「一度だけの人生です。辛く悲しくとももう一人の自分を励まして歩んでほしいと思います」とあいさつしました。

また、広瀬要人教育長は「9ヵ月遅れの卒業式となりました。この式は、みなさんに『負

けないで』という激励の式でもあります。頑張ってください」と教育委員会を代表してはなむけの言葉を贈りました。

卒業生を代表して中川昭君（草野小）、飯畑美早紀さん（飯樋小）、菅野健太君（白石小）は子どもたちを代表して「今年は日常のありがたさがわかる1年になりました」「震災を経験して全国の皆さんにご支援いただき、守られていることを実感しました」「卒業証書を受け、晴れ晴れした気持ちでいっばいです。数え切れないほどの思い出がよみがえってきます」と御礼の言葉を述べました。

式では子どもたちの新たな門出を祝おうと俳優でリバースプロジェクト

草野小学校



飯樋小学校



教育委員会からの御礼

震災の影響で延期されていた幼稚園小学校の卒園卒業式。多くの方々のご協力で開催できましたこと感謝の気持ちでいっぱいです。卒園、卒業された皆さん、困難にくじけることなく強くたくましく生き抜いていってください。

保護者の皆さま、そしてご支援いただいた皆さま、ありがとうございました。

白石小学校



草野幼稚園
(さくら組)



平成22年度
卒園・卒業生



草野幼稚園
(すみれ組)



飯樋幼稚園
(ぱんだ組)

